

令和4年度「在宅医療サポート介護支援専門員研修」実施報告

生涯学習委員会

荻田 靖子

開催日：令和5年3月19日(日) 13時30分～16時30分

場 所：あわぎんホール 5階小ホール及びオンラインとのハイブリット形式

参加者：49名(会場31名、オンライン18名)

報告

在宅生活を支える介護支援専門員は、介護サービスはもとより、福祉、医療の他分野において様々な職種と協働し、利用者を支える事が必要となります。

また、近年では在宅医療の推進とともに難病や重度の利用者を支援する事が求められ、さらに新型コロナウイルス感染拡大とともに在宅看取りを希望されるケースも急増しております。

研修では福祉系介護支援専門員を対象に、医師、栄養士、歯科医師の立場から介護支援専門員に対し「知っておくべき知識」と題し講義頂きました。

第1部：医療との連携では、医療保険と介護保険の違いや老年期に起こりやすい疾病について数値や症状に分けて詳しく講義頂きました。平時の利用者のバイタルを知っておくことは変化時との違いに気づくことができ、普段と違う症状にいち早く気づく事ができるため分かりやすく説明頂きました。また、医師や病院、入退院時の連携のコツなど、明日からすぐ役立つ内容を講義頂きました。

第2部：栄養と食事では、老年期の生理機能の低下に伴い食事量の変化や高齢者の食生活の特長を講義頂き、普段の業務と照らし思い当たることがたくさんある内容でした。また、シニア世代に不足しがちな栄養素やどんな食品かをイラストを用いて分かりやすく解説頂き、工夫をするポイントなども講義頂きました。さらに誤嚥についても講義頂き、飲みこみやすい食品や調理の工夫など、どの講義内容の資料も冷蔵庫に貼っておきたい内容でした。

第3部：歯科知識では、認知症の方の口を確認するための方法など、写真を用いて分かりやすく解説頂きました。また、誤嚥と誤飲について話を頂き、誤嚥性肺炎を予防するためには口腔咽頭内細菌のコントロールが必要で、ブラッシングや含漱による口腔内を清潔に保つことと、口腔清拭で食渣・水分を溜めない事が必要と講義頂きました。義歯を使用している利用者も多くいますが、義歯の清掃方法について、ブラッシングだけでなく、洗浄剤の使用により義歯の土台内に含まれる最近除去を行うことも必要と講義頂きました。

どの講義も普段の業務の中で実践しやすい内容となっており、得た知識で利用者の健康を守り、在宅生活を維持するために役立つ知識でした。

福祉系の介護支援専門員が多くなる中、今回得た知識を用いてアセスメントやモニタリング時に実践することで在宅生活の状況がより詳しく得られ、医療関係者に自信を持って伝えることができると思われます。

参加者も多く知識を得ることができ、実践力の向上に繋がった研修でした。

今後もスキル向上に繋がるような研修を企画していきたいと思いますので、医療との連携に悩んでいる方や知識向上を得たい方がいましたら、ぜひお誘いいただきご参加いただきたいと思います。